

製品名: ミンディンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab13905

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	SPON2
別名	SPON2; DIL1; Spondin-2; Differentially expressed in cancerous and non-cancerous lung cells 1; DIL-1; Mindin
遺伝子 ID	10417.0
SwissProt ID	Q9BUD6
免疫原	抗血清はヒト SPON2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

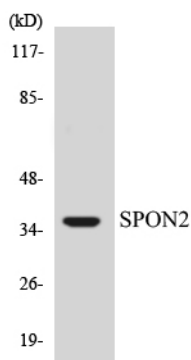
機能:海馬胚性ニューロンの接着と成長を促進する細胞接着タンパク質。細菌およびその構成成分に直接結合し、マクロファージによ

る細菌の貪食においてオプソニンとして機能する。自然免疫応答の開始に不可欠であり、ECMにおいて微生物病原体に対する固有のパターン認識分子である。類似性:1つのスポンジドメインを含む。類似性:1つのTSPタイプ1ドメインを含む。組織特異性:正常な肺組織で発現するが、肺癌細胞株では発現しない。機能:海馬胚性ニューロンの接着と成長を促進する細胞接着タンパク質。細菌およびその構成成分に直接結合し、マクロファージによる細菌の貪食においてオプソニンとして機能する。自然免疫応答の開始に不可欠であり、微生物病原体のECMにおける独自のパターン認識分子です。類似性:1つのスポンジドメインを含みます。類似性:1つのTSPタイプ1ドメインを含みます。組織特異性:正常な肺組織で発現しますが、肺癌細胞株では発現しません。

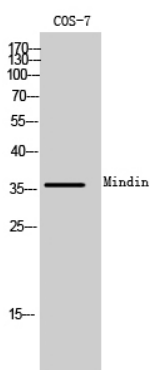
研究分野

神経科学

画像データ



SPON2 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



Mindin ポリクローナル抗体を用いた COS-7 細胞のウェスタンブロット解析